



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名 日本ペイント株式会社
 コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint.co.jp/>

上場取引所 東 大 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 健二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 赤木 勤
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

TEL 06-6455-9141
 平成24年11月29日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	119,333	11.7	13,550	169.8	14,646	126.4	7,829	121.7
24年3月期第2四半期	106,827	△7.2	5,021	△45.4	6,470	△41.7	3,531	△50.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 6,409百万円 (156.4%) 24年3月期第2四半期 2,499百万円 (△38.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	29.58	—
24年3月期第2四半期	13.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	266,591	150,257	52.8
24年3月期	274,105	145,382	49.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 140,789百万円 24年3月期 136,183百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,000	4.8	24,000	47.0	27,000	33.7	16,000	30.0	60.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	265,402,443 株	24年3月期	265,402,443 株
② 期末自己株式数	690,332 株	24年3月期	685,949 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	264,714,578 株	24年3月期2Q	264,729,387 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は別途実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの第2四半期連結累計期間の業績につきましては、国内外における自動車用塗料の売上高増加もあり、連結売上高は前第2四半期連結累計期間（以下「前年同期」）と比較して125.1億円増加し、1,193億33百万円（前年同期比11.7%増）となりました。連結営業利益は、売上総利益が増加したことなどから前年同期と比較して85.3億円増加し、135億50百万円（前年同期比169.8%増）となりました。また、連結経常利益については、前年同期と比較して81.8億円増加し、146億46百万円（前年同期比126.4%増）となり、連結四半期純利益は、前年同期と比較して43.0億円増加し、78億29百万円（前年同期比121.7%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。なお、海外の事業会社においては一部を除いて12月期決算を採用しており、第2四半期連結累計期間の対象期間は2012年1月から6月となります。

《日本》

当地域の経済動向は、第1四半期においては個人消費が緩やかに増加するなど景気回復の傾向が見られましたが、第2四半期に入ってから輸出などにおいて足踏み傾向が見られました。国内の塗料需要は、前年度の東日本大震災の影響が解消し、出荷数量・金額とも前年同期を上回りました。

このような状況のもと、自動車用塗料については、この第2四半期連結累計期間中の国内自動車生産台数の好調な推移に伴い、当期の売上高は前年同期と比較して47.8億円増加し、224億68百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

汎用塗料の売上高は、市況が回復傾向にあることに加え、戸建塗り替え等、リテール分野の活況と新製品発売等の打ち手が功を奏し、売上が拡大したことなどにより、当期の売上高は前年同期と比較して25.1億円増加し、198億16百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

工業用塗料については、建築資材や鋼製家具、建設機械向け塗料の出荷が増加したことなどから、当期の売上高は前年同期と比較して9.4億円増加し、198億88百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

利益面では、売上高増に加え、原材料価格が前年同期と比較して低位に推移したこと、販売管理費が前年同期よりも減少したことから、営業利益は前年同期を大幅に上回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は前年同期と比較して73.8億円増加し、895億77百万円（前年同期比9.0%増）となり、営業利益は前年同期と比較して69.0億円増加し、116億89百万円（前年同期比144.2%増）となりました。

《アジア》

当地域では、中国においては経済成長に減速傾向が見られる一方で、タイでは想定よりも早く洪水の影響から脱し、経済の回復傾向が見られました。

このような状況のもと、総額連結事業については、タイでは、自動車生産台数が上期としては初めて100万台を超える過去最高の生産台数となったこともあり、自動車用塗料の売上高は大幅に増加しました。これらにより、タイの当期の売上高は、前年同期を上回りました。自動車向けプラスチック用塗料事業については、事業の中心である中国においても自動車の生産台数が増加したことなどから、当期の売上高は前年同期を上回りました。船舶用塗料事業については、運航時の燃費を改善する低摩擦型船底塗料の拡販に加え、その他の船底塗料については廉価品を投入したことにより、当期の売上高は前年同期を上回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高（総額連結事業）は前年同期と比較して23.3億円増加し、186億26百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益は前年同期と比較して4.5億円増加し、11億72百万円（前年同期比61.5%増）となりました。

持分法適用会社事業については、その中核である中国において自動車用塗料の売上高は増加したものの、汎用塗料・工業用塗料の売上高が減少したこともあり、中国での売上高は前年同

期と比較して減少しました。なかでも収益性が高く、事業の過半を占める建物内装用塗料の売上高が減少したことなどから、持分法投資利益は前年同期を下回りました。

これらにより、当地域セグメントの持分法投資利益は前年同期と比較し2.4億円減少し、22億6百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

《北米》

当地域の自動車生産台数は前年同期と比較して大幅に増加し、リーマン・ショック前の水準にまで回復したこともあり、自動車用塗料の売上高は前年同期を大幅に上回りました。これに加え、これまでの事業体質改善による効果もあり、利益面では一定水準の営業利益を確保できるまでになりました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は前年同期と比較して27.0億円増加し、98億16百万円（前年同期比38.0%増）、営業利益は5億76百万円（前年同期は4億43百万円の営業損失）となりました。

《その他》

当地域セグメントの売上高は前年同期と比較して1.0億円増加し、13億13百万円（前年同期比7.9%増）、営業損失は10百万円減少し、17百万円（前年同期は27百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して75.1億円減少し、2,665億91百万円となりました。そのうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して4.4億円増加しておりますが、主な要因は、法人税や配当金の支払い及び借入金の返済などにより現金及び預金が減少した一方で、売上の回復により売上債権やたな卸資産が増加したことや、中国の持分法適用関係会社からの特別配当金を未収入金に計上したこと等によるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して79.6億円減少しておりますが、主な要因は、前述の特別配当金により投資有価証券が減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して123.9億円減少し、1,163億33百万円となりましたが、主な要因は、借入金を返済したことによるものです。

少数株主持分を含めた純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して48.8億円増加し、1,502億57百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度の49.7%から52.8%へ上昇いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間は、営業活動により101億77百万円の収入、投資活動により26億15百万円の支出、財務活動により153億81百万円の支出があり、結果として現金及び現金同等物（以下「資金」という）は271億14百万円となり、前連結会計年度末より80.1億円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による収入は、101億77百万円（前年同期比80.2億円増）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益に減価償却費（非現金支出費用）を加味したキャッシュ・フロー収入を168億15百万円計上する中、61億11百万円の法人税等の支払いがあったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による支出は、26億15百万円（前年同期比12.2億円増）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出20億66百万円に加え、3ヶ月を超える定期預金の実施に伴う支出3億37百万円が新たに発生したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による支出は、153億81百万円（前年同期比68.5億円増）となりました。主な要因は、借入金の返済に136億11百万円、配当金の支払いに17億12百万円を支出したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の結果を踏まえ、平成24年8月6日に公表いたしました通期業績予想を、修正いたします。

第2四半期連結累計期間につきましては、継続したコスト抑制に努めたことなどにより、前回公表した数値を上回る結果となりました。一方、下期につきましては、日中関係の悪化などが国内外市場に与える影響や原材料価格動向の先行きなど、依然として不透明な状況が続くものと予想されますが、利益の確保を目指してまいります。

以上を踏まえ、前回公表した通期業績予想を次のとおり修正いたします。

平成25年3月期通期連結業績予想数値(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	236,000	21,600	25,000	14,300
今回修正予想(B)	233,000	24,000	27,000	16,000
増減額(B-A)	△3,000	2,400	2,000	1,700
増減率(%)	△1.3	11.1	8.0	11.9

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,126	27,383
受取手形及び売掛金	81,851	82,975
たな卸資産	24,956	25,115
繰延税金資産	2,879	2,932
その他	3,285	10,127
貸倒引当金	△458	△451
流動資産合計	147,641	148,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,274	26,647
その他(純額)	32,464	32,834
有形固定資産合計	59,739	59,482
無形固定資産		
のれん	11,285	10,945
その他	3,826	3,513
無形固定資産合計	15,111	14,458
投資その他の資産		
投資有価証券	46,088	38,605
繰延税金資産	3,248	3,837
その他	2,571	2,383
貸倒引当金	△295	△259
投資その他の資産合計	51,613	44,567
固定資産合計	126,464	118,508
資産合計	274,105	266,591

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,628	60,014
短期借入金	29,221	15,645
リース債務	280	299
未払法人税等	5,136	3,941
繰延税金負債	4	0
その他	11,786	12,172
流動負債合計	105,058	92,073
固定負債		
長期借入金	7,000	7,124
リース債務	564	658
繰延税金負債	1,246	1,273
退職給付引当金	10,045	10,471
役員退職慰労引当金	265	240
環境対策引当金	319	319
製品保証引当金	475	456
その他	3,749	3,714
固定負債合計	23,664	24,260
負債合計	128,723	116,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,712	27,712
資本剰余金	27,187	27,187
利益剰余金	95,211	101,717
自己株式	△327	△330
株主資本合計	149,784	156,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383	△1,001
繰延ヘッジ損益	△2	1
為替換算調整勘定	△13,982	△14,498
その他の包括利益累計額合計	△13,601	△15,497
少数株主持分	9,199	9,467
純資産合計	145,382	150,257
負債純資産合計	274,105	266,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	106,827	119,333
売上原価	73,119	77,975
売上総利益	33,708	41,358
販売費及び一般管理費	28,686	27,807
営業利益	5,021	13,550
営業外収益		
受取利息	20	38
受取配当金	203	203
貸倒引当金戻入額	28	17
持分法による投資利益	2,443	2,207
その他	402	519
営業外収益合計	3,098	2,986
営業外費用		
支払利息	293	207
為替差損	778	996
その他	577	686
営業外費用合計	1,649	1,889
経常利益	6,470	14,646
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	1	0
災害損失引当金戻入額	123	—
その他	4	—
特別利益合計	132	3
特別損失		
投資有価証券売却損	—	2
固定資産除売却損	52	38
減損損失	—	34
投資有価証券評価損	406	926
その他	7	1
特別損失合計	467	1,003
税金等調整前四半期純利益	6,135	13,646
法人税等	2,296	5,199
少数株主損益調整前四半期純利益	3,838	8,447
少数株主利益	307	617
四半期純利益	3,531	7,829

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,838	8,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,488	△1,391
繰延ヘッジ損益	0	7
為替換算調整勘定	△75	△127
持分法適用会社に対する持分相当額	223	△525
その他の包括利益合計	△1,339	△2,038
四半期包括利益	2,499	6,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,213	5,933
少数株主に係る四半期包括利益	285	475

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,135	13,646
減価償却費	3,753	3,169
減損損失	—	34
受取利息及び受取配当金	△224	△241
支払利息	293	207
持分法による投資損益(△は益)	△2,443	△2,207
有形固定資産除売却損益(△は益)	49	34
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	405	928
売上債権の増減額(△は増加)	△2,538	△687
たな卸資産の増減額(△は増加)	459	△229
仕入債務の増減額(△は減少)	△490	1,620
その他	△1,269	△1,181
小計	4,132	15,094
利息及び配当金の受取額	767	1,465
利息の支払額	△342	△270
法人税等の支払額	△2,397	△6,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,159	10,177
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,516	△2,066
有形固定資産の売却による収入	18	6
投資有価証券の取得による支出	△13	△197
投資有価証券の売却による収入	17	8
その他	93	△367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,400	△2,615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△15	△6,571
長期借入れによる収入	—	127
長期借入金の返済による支出	△7,233	△7,039
リース債務の返済による支出	△133	△181
配当金の支払額	△1,058	△1,323
少数株主への配当金の支払額	△86	△389
その他	△8	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,535	△15,381
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73	△192
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,850	△8,012
現金及び現金同等物の期首残高	28,346	35,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,496	27,114

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	82,201	16,295	7,113	105,610	1,217	106,827
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,997	884	93	5,975	307	6,282
計	87,198	17,180	7,207	111,585	1,524	113,110
セグメント利益又は損失(△)	4,787	726	△443	5,070	△27	5,042
持分法投資利益又は損失(△)	△0	2,443	—	2,443	—	2,443

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	5,070
「その他」の区分の利益	△27
セグメント間取引消去その他の調整額	△20
四半期連結損益計算書の営業利益	5,021

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	100,012	△7.6
自動車用	32,871	△15.0
汎用	19,194	△9.2
工業用	21,116	3.0
その他塗料	26,831	△4.1
ファインケミカル	6,815	△0.6
合計	106,827	△7.2

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	89,577	18,626	9,816	118,020	1,313	119,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,970	1,312	68	7,351	354	7,706
計	95,547	19,939	9,884	125,371	1,667	127,039
セグメント利益又は損失(△)	11,689	1,172	576	13,438	△17	13,420
持分法投資利益	0	2,206	—	2,207	—	2,207

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	13,438
「その他」の区分の利益	△17
セグメント間取引消去その他の調整額	130
四半期連結損益計算書の営業利益	13,550

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による影響額は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて老朽化により遊休状態になった事業用の固定資産について、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては34百万円であります。

5. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	112,752	12.7
自動車用	41,468	26.2
汎用	22,001	14.6
工業用	22,005	4.2
その他塗料	27,278	1.7
ファインケミカル	6,581	△3.4
合計	119,333	11.7

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。